

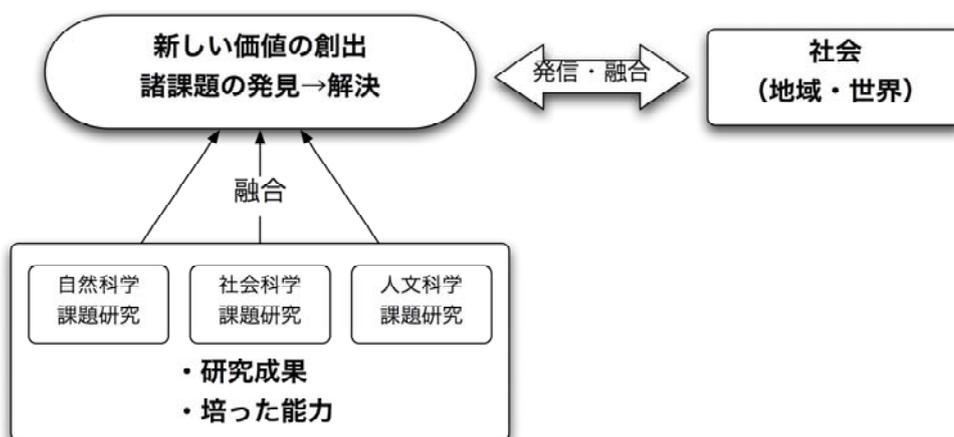
石川県立七尾高等学校
第4期スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の取組

1 研究開発課題名

「知」の融合を基軸として、イノベーションを創出する人材の育成

2 研究開発の目的

生徒が主体的・協働的に取り組む課題研究において、課題発見を中心とした探究能力の育成を図る。ここでは、異なった分野の「知」（課題研究の成果や課題研究を通して培った能力）を融合させることにより、諸課題を発見及び解決する「新しい価値」を生み出す。また、発見した諸課題及びその解決策については、国内外に発信することで、地域等の企業や自治体などと共創を目指す。この新しい価値を生み出すプロセスを学ぶことで、将来のイノベーションの創出を担う人材の育成を図る。本研究課題においては、そのためのプログラムや教育課程、指導方法、評価方法、高等教育機関や企業、行政機関等との連携の在り方について研究開発と実践を行う。



3 研究開発の概略

研究Ⅰ 【探究】新しい価値を創出する「知」の融合プログラムの開発

課題研究を基盤として、異なった分野の「知」（研究成果，培った能力）を融合する教育プログラムを開発・実施する。これにより，生徒は多様な観点，複合的な視点から，新しい価値（課題発見及び解決）を創出できる能力の習得を図る。

- ・科目「探究」「自然科学研究」を設置し，全校生徒が3年間継続した課題研究の実施
- ・探究を「知の探究基礎」，「知の探究実践」，「知の探究発展」の3段階に分け，実施

研究Ⅱ 【評価】身に付けた能力を評価する評価方法の開発

段階的ルーブリックを用いた評価方法を深化させるとともに，課題発見，課題解

決を通じて得た「知」の向上について、生徒自身が根拠を持って客観的に捉えることができる評価方法の確立を図る。

- ・身に付けた力を記録し、参照できる「知の履歴」の開発
- ・自己評価と他者評価を関連させた評価方法の開発
- ・「段階的ルーブリック」の普通科目への更なる適用

研究Ⅲ 【発信】新しい価値を地域・世界へ発信し、共創するプログラムの開発

生徒が「知」の融合を通じ、社会における諸課題の発見及び解決策を創出するとともに、その成果を地域及び世界に対して発信し、共創することで、そうした価値の共有を図る。

- ・社会における諸課題の理解及び解決を図るための企業や行政機関との連携
- ・独創的な技術を持つ地域の世界的ニッチトップ企業（株式会社スギヨ、天池合織株式会社）との交流
- ・課題研究等で得た成果を社会の諸課題の解決策として、国内外に発信し、その解決について地域等の企業や自治体などと協働
- ・世界へ発信することを目的とした研究内容の英語による発表能力を育成する学校設定科目の設置

4 3つの段階を経た課題研究の取組

課題研究は、「知の探究基礎」「知の探究実践」「知の探究発展」の3つの段階にわけて、全校生徒が3年間行う。

